

TOKYO KASEI PRESS

2025
9
Vol.105

学校法人渡辺学園 広報誌 なでしこ

202510/25^土・26^日
第65回 緑苑祭

202510/26^日
第12回 狭山緑苑祭



【学科シンポジウム】

10/25㊥
服飾美術学科
 13:00～15:50
 進む_デザイン思考&アート思考、DX化

栄養学科・管理栄養学科・栄養科・緑窓栄養士会共催
 13:00～15:00
 人類はこれからのような食生活をしていくべきか
 —One Earth Guardians育成プログラム・ムーンショットプロジェクトからの提言

造形表現学科
 13:00～15:30
 造形表現学科で学んだこと
 —卒業生に聞く—

10/26㊦
児童学科・保育科
 10:30～12:30
 子どもとの出会いから生まれる保育

初等教育学科・児童教育学科
 13:30～16:00
 卒業生から学ぶ
 —小学校教員として生きるということ—

英語コミュニケーション学科
 13:00～16:00
 第21回英語教育シンポジウム
 「5ラウンドシステムの英語授業」

大学で何を学ぶのか、
 知るチャンス!

心理カウンセリング学科
 10:00～12:00
 心理学を活かして企業で活躍する人たち
 —ウェルビーイング経営—

教育福祉学科
 (後援: CRED / トランスジェンダー学生受け入れ検討特別委員会)
 13:00～15:30
 性の多様性を人権の観点から問い直す
 —私たちすべての中にある性と生—

※一部事前申し込み制。詳細は学科HPやSNSをご確認ください。

板橋キャンパス /

第65回 **緑苑祭**

開催日時

2025 10/25㊥・26㊦ 10:00～16:00

最新情報はこちら! ※追加情報等を随時更新しています。



テーマ **夢宙旅行**



お友だちやご家族と、
 ぜひお越しください!

FASHION SHOW
EVE 2025
ファッションショー

DEPARTMENT OF COSTUME AND CLOTHING SCIENCE
服飾美術学科



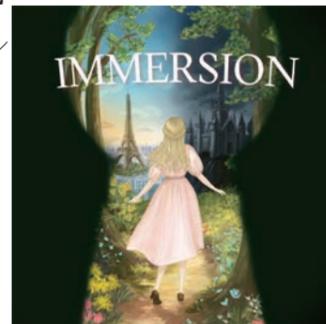
テーマ
IMMERSION

2025 10/25㊥・26㊦
 1st 11:15 / 2nd 13:45 / 3rd 15:00

場所
 板橋キャンパス 120周年記念館1階 多目的ホール

チケット情報
 無料、事前予約チケット、当日チケットの2種類

最新情報はこちら!
 EVE公式Instagram



※写真は2024年「第64回 緑苑祭」の様子です。

学生代表のメッセージ

今年のテーマは「IMMERSION」。物語の世界に没入するように、少しでも現実を離れ、非日常的なときめきを感じていただけたら嬉しいです。そしてショーの後、この体験から皆さんの日常に小さな光や変化が生まれることを願っています。私たちは本番に向け、未熟ながらも一人ひとりが精一杯、制作や練習に励んできました。このショーを通じて、それぞれの想いや努力が伝われば幸いです。関わってくださる全ての方への感謝の気持ちを胸に、本番では心躍るようなファッションショーをお届けします。ぜひ会場でお待ちしています! 家政学部 服飾美術学科3年 M.U.



Message
 栄養学部 管理栄養学科2年 W.N.

▲学生支援
 キャラクター「りょっくん」

想いはひとつに、最高の文化祭へ。
緑苑祭実行委員会 委員長
心おどる宇宙の旅、開幕!
 昨年度の緑苑祭は、学生や教職員、大学関係者の方々など多方面からのご協力があったおかげで、多くの方に楽しんでいただくことができました。ご協力、誠にありがとうございました。今年度も、様々な団体の方々ご参加を予定しており、ステージ発表、販売、体験など見どころいっぱいです!
 今年度のテーマは、「夢宙旅行」。来場者の皆さまが、宙いっばいに広がる私たちの夢に心を躍らせ、宇宙旅行のように楽しい緑苑祭にしたいという思いがこもっています。またかつて夢とされていた宇宙旅行が実現したように、家政大生の夢も必ず叶うといった思いを表現しています。ぜひ第65回緑苑祭にお越しください!

※写真は2024年「第64回 緑苑祭」の様子です。



【学科企画】



リハビリの世界を一緒に体験してみませんか？
お待ちしております！

リハビリテーション学科

リハビリテーション学科では、専攻ごとに演習体験を開催します！
作業療法専攻はピースブレスレッドなどの作業を通じた活動や演習を行い、
理学療法専攻では妊婦や高齢者などの体験を行います！



看護を体験してみませんか？
ぜひご参加ください！

※写真は2024年「第11回 狭山緑苑祭」の様子です。

子ども支援学科

楽しく遊ぼう！～ワクワク子どもフェスティバル～
みんなが笑顔になれるような「緑日」や「迷路」などの遊び場をつくって、
待っています！



わたしたちと一緒に
楽しみましょう！

看護学科

キラキラナースへの道

看護学科では、手洗いチェッカーによる手洗い体験や車いす体験、モデル人形による赤ちゃん抱っこの体験ができます。

※写真は2024年「第11回 狭山緑苑祭」の様子です。



狭山キャンパス /

第12回 狭山緑苑祭

開催日時

2025 10/26 10:00～16:00

最新情報はこちら！ ※追加情報等を随時更新しています。



のぞいてみたら、
きっと夢中に！
いろんな体験、
待ってます！



Message

子ども支援学部 子ども支援学科2年 K.Y.



▲狭山キャンパスキャラクター
「かせいのモリタン・かせいのモリリン」



テーマ 翠空の軌跡

想いはひとつに、最高の文化祭へ。

狭山緑苑祭実行委員会 委員長

希望あふれる空へ、軌跡を描こう！

今回の狭山緑苑祭は、「翠空の軌跡」というテーマのもと、様々な新しい企画を取り入れて準備を進めています。このテーマには、「無限の可能性や希望に満ちた「翠空」のように、学生一人ひとりが持つ能力や可能性を存分に発揮し、未来に希望を抱けるような学園祭にしたい」という思いが込められています。家政大生はもろんのこと、地域の皆さまや子どもたちにも楽しんでいただける、狭山らしさあふれる温かい学園祭となっております。皆さまのご来場を心よりお待ちしております！

【学科シンポジウム】

学科の学びを深く知る、
第一歩に！



※写真は2024年「第11回 狭山緑苑祭」の様子です。

10/25

看護学科

10:00～12:00

一人生100年時代を私らしく生き抜くためにー
私の人生の最終段階における医療・ケアについて考えよう！

10/26

リハビリテーション学科

13:00～15:30

先進的なリハビリテーション教育と可能性：
国際支援と学校作業療法

子ども支援学科

10:00～12:30

全ての子どもの可能性を拓くための包摂的な幼児教育・
保育と専門性のあり方を考える

※25日は学科シンポジウムのみの実施となります。
※一部事前申し込み制。詳細は学科HPやSNSをご確認ください。

東京家政大学 3年生が紹介する 私の学び



Q1. 学業について
Q2. 東京家政大学の推し

QUESTIONS



人文学部 英語コミュニケーション学科 A.S.

グローバル教育センターで
充実の時間を

A1. 英語のスピーキングの授業で培った力を土台に、現在はゼミナールで「motivation」について学び、学んだことを活かして英語でのプレゼンに取り組んでいます。
A2. 英会話や語学の本が充実しているグローバル教育センターがお気に入りです。

人文学部 教育福祉学科 A.A. 光が差し込む図書館 “閲覧室”で集中

A1. ゼミ活動や実習といった、これまでの学びの成熟度や自主性が試される機会が増えました。大変さや困難を一人で抱え込むのではなく、共に励む仲間を見つける力や、仲間と課題を達成する力を発揮することがこれまで以上に大切になるのだと考えます。
A2. 図書館の閲覧室が好きです。大きな窓から光が差し込むので、圧迫感を感じることなく自習することができます。



家政学部 造形表現学科 M.Y.

一緒に取り組む
仲間がいる

A1. 造形、表現、デザイン分野の制作を経験した上で、3年では就職を視野に入れ、興味や探究心を抱いたデザイン分野を中心に工芸や映像なども学んでいます。企画や制作の意図を深めることや新しい技法にも挑戦し、日々表現の引き出しを増やす努力を行っています。
A2. クラス制度が一番の魅力です。一緒に取り組む仲間がいることが、楽しい授業や活動につながっています。

人文学部 心理カウンセリング学科 S.S. 自然豊かなキャンパスと 美しい景色

A1. 3年生では看護臨床実習や救急処置実習、遊戯療法、ゼミナールなど、1.2年次よりもさらに実践的な授業が多くなります。実際に看護教諭や心理職として働くイメージを膨らませながら、同じ目標を持つ仲間と協働し、新たな視点を得て楽しく学んでいます！
A2. 自然豊かなキャンパスで、桜や紫陽花、イチヨウなど四季折々の美しい景色を楽しめるところが魅力です！



児童学部 児童学科 児童学専攻 M.I.

サークル
“児童音楽研究会たんぼぼ”

A1. 児童学部で子どもや保育について学んでいます。3年次には資格取得のため実習が3回あり、1・2年次に培った基礎に加え、専門的かつ多角的に保育を学び、現場で求められる実践力を身につけています。
A2. 私の推しは、現在所属しているサークル“児童音楽研究会たんぼぼ”です。音楽を通して子どもと関わり、多くの学びとやりがいを得られます。

児童学部 初等教育学科 Y.K. 少人数のクラスで 目標に向かい切磋琢磨

A1. 3年生では各教科の教育内容と教育方法を学んでいます。小学校で実際に授業を行うことを想定し、クラス一丸となり試行錯誤しながら教材研究に励んでいます！様々なものに教育的価値を見出すことができ、日々新たな発見をしながら自分の教育を追求しています。
A2. 少人数のクラス編成です。人数が少ないからこそ仲間意識が高まり、同じ目標に向かって切磋琢磨できます！



児童学部 児童学科 育児支援専攻 H.K. 授業で育てる植物で いつかピザ作りを

A1. 1・2年次で学んだ保育の基礎を元に、現在は保育園・施設・幼稚園での実習に向けて、指導案作成や援助方法、保護者支援などをより実践的に学んでいます。ゼミの授業では、小さい頃から好きだった絵本について自身の体験を交えながら学びを深めています。
A2. 授業で育てている栽培物です。野菜は収穫しピザ作りの材料になるため各班で大切に育てています！



健康科学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻 Y.K. 患者への具体的な介入方法

A1. 2年次までに学んだ解剖学、整形外科学、精神医学などの専門知識は、3年次以降の疾患別作業療法を学ぶための基盤となっています。3年次に進むと、疾患別作業療法に特化した授業があり、具体的には、脳卒中や外傷、精神的障害を持つ患者に対する具体的な介入方法を学んでいます。
A2. 自然な雰囲気が漂うキャンパスでは、四季折々の植物が敷地内を彩っています。植物の雰囲気を満喫しながら、心身のリフレッシュができます。



健康科学部 看護学科 N.I.

推しはゼミ室

A1. 3年生では、成人や母性看護など領域ごとに病院に行き実習を行います。現在は、事前課題や1.2年生の講義で習ったことを復習しています。課題は主に実習に行く病院や疾患についてのまとめ、技術の手順書作成です。図書館で参考書を探したり、友人と知識を深めながら実習をイメージしてドキドキしながら準備しています。
A2. 推しはゼミ室です。ホワイトボードがあり、個室のため、授業終わりや休日に友人と集まり、課題をやる事が出来ます。飲食ができるため、おやつを食べ息抜きをしながら一日過ごすことが出来ます。



栄養学部 管理栄養学科 H.N.

「ルーチェ」で過ごす
友人との時間

A1. 現在私たちは、座学の栄養療法論や応用栄養学の他、食品化学実験や食品衛生学実験といった実験の授業に取り組んでいます。また栄養教育実習や公衆栄養学実習といった実際に1・2年生の座学で学んだことを活かす授業内で行う実習授業にも取り組んでいます。
A2. 普段ルーチェで友人とご飯を食べたり勉強をしたりしています。ランチやパンなど種類があって美味しいです！



栄養学部 栄養学科 W.K.

おすすめは
100円朝食!

A1. 3年生では、1・2年次に学んだ栄養の基礎知識を活かし、実習や実験に取り組んでいます。さまざまなライフステージに応じた献立作成や大量調理の実習などを通して、基礎の復習を行いながら実際の現場で役立つ栄養管理や調理技術のスキルを身につけています。
A2. 100円朝食がおすすめです。朝からしっかり食べることができ、授業へのモチベーションも上がります。

子ども支援学部 子ども支援学科 T.T. お気に入りのピアノ室で 集中練習

A1. 「子どもの音楽III」という弾き歌いの授業をとっています。1、2年生の弾き歌いの授業を踏まえて、少人数で授業を行います。少人数のため、自分のペースで先生からの的確なアドバイスをもとに実力を伸ばすことができます。人前で演奏する経験にもなります。
A2. ピアノ室がお気に入りの場所です。授業の課題曲を集中して練習したり、好きな曲を演奏したりしています。



健康科学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻 M.F. 窓際の自習スペースが お気に入り

A1. これまでに学んできた解剖学や運動学などの知識が、授業を通して少しずつつながり、理解が深まってきたのを実感しています。冬の長期実習に向けては、実技の復習や、レポート(サマリー)の書き方やまとめ方にも力を入れて取り組んでいます。
A2. 窓際の自習スペースがお気に入りです。友人と一緒に集中して勉強しています。



家政学部 環境共生学科 N.O. 家政大キャラクターの りょくくんが大好き

A1. 地球温暖化が進む中で、私たちの地球をこれからも守っていくためにはどのような取り組みが必要なのかを考えています。3年生になってからは、グループワークや発表の機会が増えましたが、それらを通して伝える力が少しずつ身につけてきたように感じています。
A2. 家政大キャラクターのりょくくんが大好きです！2年時の文化祭企画で作成したTシャツがお気に入りです。



家政学部 服飾美術学科 M.U. 緑苑祭 ファッションショー“EVE”

A1. 私は現在、衣服やニットの制作から実験、デザインの授業など専門分野は幅広く履修しています。1、2年で学んだ基礎的な知識を活かしながら応用を効かせた作品を作ったり、実験ではより深く探求できたりと、自分の成長も感じながら楽しく学んでいます。
A2. 緑苑祭で行われるファッションショー“EVE”です。個性を結集させた心ときめくショーをぜひご覧ください！



海外で活躍する

卒業生

GRADUATE INTERVIEWS



タイで見つけた私の保育のカタチ

メロディー幼稚園
(Melodies International Kindergarten)
家政学部 児童学科 育児支援専攻
(現: 児童学部 児童学科)
Y.M. 2023年度卒



タイ バンコク

自分の得意と好きが合致。大学卒業後の進路も見据え、東京家政大学へ入学

弟妹がいることもあり、幼少期から小さい子の面倒を見ることが楽しく、小学生の頃には幼稚園の先生になることが夢となっていました。その後、自分が得意とすることと好きなことが合致していたこともあり、学びの内容だけでなく、学生のサポート体制や取得できる資格の種類、進路選択の幅の広さ等、大学卒業後の進路も見据え、本学を選びました。

多様な背景を持つ子どもたちを援助できるようにしたい

海外での保育について1番最初に意識をしたのは、幼少期に海外に住んでいた知人から、外国生活で培った習慣が帰国後認められなかったという話を聞いた時です。さらに学生時代の実習にて、外国から帰国したばかりの子どもとその子への支援に戸惑っている保育者に出会い、多様な背景を持つ子どもたちを援助できるようにしたいと考えるようになり、現在の就職に至っています。

現在はタイバンコクにある日系の幼稚園に勤めています。昨年度は年中組を担当し、今年度はおおよそ1歳半から3歳のお子さんを複数の日本人保育者と一緒に担当しています。園には日本人部とインター部があり、それぞれ日本人部は日本人保育者とタイ人アシスタントが担当し、インター部は英語話者の先生とタイ人アシスタントが保育しています。インター部とは細かな行事は分かれています。インター部とタイ人アシスタントが協力することももちろんあります。園に通うお子

さんの多くは日本人家庭のお子様のため日本語で会話することが基本です。そのため、保育で日本の大きな違いを感じることはあまりないように思います。

大学4年間をどう過ごすのか。子どもに伝えたい大切な思いは

悲しいことに「保育者なんて子どもと遊ぶだけ」「誰にでもできる仕事」などと言われてしまうこともあるようですが、そんなことはありません。お昼寝の時間なら連絡帳を書いたり、子どもが呼吸をしているか定期的にチェックをしたり、保育後ならば翌週の活動を考えたり、手紙を作成したり、保護者と連絡を取ったり。保護者との連絡1つでも、どのような視点を持って伝えるか、伝え方は？保護者はどんな話が聞きたい？たくさん考えることがあります。大学で学んでも、それは何？そんなこともやっているんだ！と驚くことが昨年は度々ありました。

遊びに関しても、子どもにこんな楽しさを感じてほしい、こんな成長をしてほしい。何事にも思いとねらいが大切になります。そのねらいを子どもに感じてもらうには、どのタイミングで、どのような活動や関わりを、どう展開することがベストなのか考える必要があります。これには知識の引き出しが必要になります。この引き出しのキャパシティと充実度は大学生活の4年間をどう過ごすかで変わると思います。

ホームシックを経験。自己分析の重要性

新卒1年目で1人担任を任されるのは想像以上に大変でした。大学で基本的なことは学んでいるものの、実際に現場に立って初めてわかることは多く、子どもの数だ



け、もしくはそれ以上に関わり方や必要な援助があることを実感しました。

また、ホームシックに関することも海外就職を検討するならばよく考えなければならぬポイントだと思っています。私の場合、たまたま同じ年齢の日本人が3人(しかも内2人は本学出身のため以前からの知り合い)もバンコクにある他の幼稚園に就職していたのですが、それでも7月頃までは家族や友人に時間があれば電話をかけていました。園では自分の至らなさを感じて落ち込むこともありましたが、そこは冷静に自己分析をする必要があると思います。

先輩たちへメッセージ

保育の仕事は大変なこともあります。子どもたちの笑顔から元気をもらえる、とても素敵な仕事です。とはいえ、保育の勉強を4年間したからといって、必ずしも保育者にならないといけないわけではありませぬ。大切なのは、興味を持ち、知り、そして自分の選択肢を広げていくことです。お金はもちろん大切ですが、もし明日人生が終わってしまったら、そのお金は天国へ持っていくことはできません。だからこそ、自分の得意なことや好きなこと、そしてこれまでの経験を大切にして、無理なく働き続けられる道を探してみてください。

東京家政大学 グローバル教育センター

板橋キャンパス16号館2階
受付時間：平日 9:00~17:00
土曜日 9:00~12:00
お問い合わせ：03-3961-1861



WEB



Instagram

新入留学生 日本での大学生活



中国
栄養学部 管理栄養学科1年 A.K.

やさしさと学びに包まれて

私は管理栄養学科に在籍しています。先輩も優しく、色々なことを教えてくれます。秋から調理実習が始まるそう。今とても楽しみです。私には大学でお気に入りの場所がありました。それは構内にある2つのカフェです。よく友達と一緒にそこで昼ごはんを食べます。一番好きなのは小講堂にあるカフェです。手作りのクッキーとプリンが食べられます。とても美味しいです。もう一つは16号館にあるカフェです。そこはデザインが半球体で全面がガラス張りになっています。光が入って気持ちがいいです。



中国
児童学部 児童学科 児童学専攻1年 Y.L.

好きが広がる、学びの場所



小さい頃から日本文化に興味があったので、中国より保育や児童教育に力を入れている日本に来て、東京家政大学の児童学科に入学して本当によかったと思います。1年生から専門に関わる科目を学んで、早めに分野の特徴を理解できることが魅力的だと思います。学内には附属の幼稚園があり、休み時間には時々子どもたちの姿を見ることができて、心が癒され、最高の幸せを感じます。また、「子どもが好き」という気持ちを持って、学内で同じ目標を目指している仲間たちと出会い、友達が増えて、とても嬉しいです！

海外からのインターンシップ生



Claremont Mckenna College
(アメリカ合衆国 カリフォルニア)
Lisa Mauriccioさん



リサさんと体験する多文化理解

5月25日から8月7日までカルフォルニアのClaremont Mckenna CollegeからLisa Mauriccioさんが本学でインターンシップ生として過ごしました。本学の教員と学生の家でホームステイをしながら、英語コミュニケーション学科の授業アシスタントや、グローバル教育センターで彼女の第一言語であるスペイン語と異文化講座の実施、「Jesús Japan」というタイトルでセンターのInstagramを毎週更新して日本での様子を発信してきました。また、本学附属みどりヶ丘幼稚園で園児たちとの交流、日本の高校で出張講義も行いました。鎌倉や浅草を訪問して日本文化への理解も深めていました。明るく元気な彼女は、どこでも学生に大人気で、忙しいながらも充実した毎日を送っていました。本学の学生にとっても、同年代の留学生との交流は刺激となり、言語学習や異文化理解のモチベーションになったようです。



6/12(木) インターナショナルカフェを実施!

今回のテーマはステレオタイプについて留学生を含め25名で意見交流会を楽しみました。どんなステレオタイプをもっているか。ステレオタイプをもってしまう原因とは?無意識のうちに持っている凝り固まったイメージについて意見を交わすことで参加者からは「自分の身の考え方を見つめ直すきっかけになった!」「留学生から日本に対するイメージを聞くことができ、海外文化を知ることができました!」などの声がかえってきて有意義なイベントになりました。インターナショナルカフェは後期(10月9日)にも実施予定です。「海外について知りたい!」「留学生と交流したい!」そんな方にぴったりのイベントですので、みなさんのご参加をお待ちしています!



11月 英語力測定テスト (TOEIC® L&R)

- 実施日程 2025年11月22日(土) ~ 11月25日(火)
- 対象者 板橋校舎・狭山校舎の2年生および3年生
- 実施方式 オンラインテスト形式

人文学部 心理カウンセリング学科



WEB



地域連携
事業

板橋区

心理カウンセリング学科
大学院臨床心理学専攻

**区内の不登校児童・生徒に大学内の居場所を提供する
「大学内居場所事業」**

板橋区との連携活動として「大学内居場所事業」を6月からスタート。板橋区在住または同区立学校在籍で、不登校・不登校傾向のある児童・生徒（小学校1年～中学校3年）を対象とした取り組みです。臨床心理学専攻の大学院生、心理カウンセリング学科の学部学生がボランティアスタッフとして参加し、月に二度、大学の構内で児童・生徒と一緒に勉強や体験学習を行っています。また、院生が企画した交流ツールの提供、学生ボランティアによる子どもの支援、保護者支援なども実施しています。
※利用は板橋区在住または板橋区立学校在籍の不登校・不登校傾向の児童・生徒に限る。

「板橋フレンドセンター」への学生派遣

さまざまな理由で学校に行くことができない児童や生徒が、探究的な活動や体験活動、創作活動、他者との交流などを通じて、自己実現を図るための場所。
心理相談室もあり、通級する児童・生徒の相談にも応じています。心理カウンセリング学科の学生派遣は5月から開始しており、年間約950時間を予定しています。

子どもたちが

「安心できる居場所」の提供を

お子さんとその保護者の方と一緒に、無造作に描いた線からお菓子を想像し、色を塗ってお菓子の詰め合わせの絵を描いたり、手のひらの形を型取り、その中に自分の好きなものを書いていく遊戯療法的な活動を行いました。また、おもちゃで一緒に遊ぶなどの関わりも行いました。

参加されたお子さんは、最初は緊張した様子で、自分のやりたいことを伝えるのが難しくその印象でしたが、次第に慣れていき、自分の好きなものを自由に描いたり、おもちゃで楽しそうに遊ぶ姿が見られるようになりました。保護者の方も一緒に活動に参加して下さり、お子さんと一緒に絵を描いたり遊ばれる様子はとても楽しそうで、親子のあたたかな関係性も感じることができました。子どもたちが自由に遊んだり創作活動に取り組めるような「安心できる居場所」を提供することで、素直な気持ちで活動を楽しんでもらえる点に、この活動の意義を感じました。

「気づき」や「気持ちの変化」、
「他者との関わり」の有意義さを、
子どもたちにも感じてもらいたい

遊戯療法や絵画療法について大学で学び、それらが自己表現やセラピストとのラポール形成に役立つということを理解していました。講義の中で実際に自由な創作活動を体験し、自分自身の内面を表現できたこと、また友人と作品を共有したり一緒に制作する中で、他の人の表現方法に気づいたり気持ちの分かち合えたことが印象に残っています。
今回の活動を通して、そのような「気づき」や「気持ちの変化」、「他者との関わり」の有意義さを、子どもたちにも感じてもらいたいとい



東京家政大学大学院
臨床心理学専攻 A.W.

う思いを持って支援にあたりました。また、ラポールの形成についても、今回の経験でその大切さと効果をより実感することができました。最初は保護者の方としか話せなかった子どもが、次第に私たちにも心を開いてくれるようになった様子を見て、遊戯療法や絵画療法の持つ力を実感しました。

「自分の居場所」と

「みんなの居場所」を

子どもたちにとって、この大学内居場所事業や教育支援センター（板橋フレンドセンター）が安心して過ごせる居場所として受け入れられ、継続的に来てくれる子が増えていくといいなと思います。そうしただけで、子どもたち自身「やりたいこと」や興味を聞きながら、主体性を大切にした新たな活動にも挑戦していきたいです。
私たちが用意する活動だけでなく、子どもたちが自ら提案してくることも柔軟に対応し、また、他のお友だちとの交流が自然に生まれてくるような関係性づくりに力を入れたいです。
最終的には、子ども一人ひとりにとっての「自分の居場所」であると同時に、みんなが安心して過ごせる「みんなの居場所」としての機能も果たせるよう、より開かれた環境づくりに挑戦していけたらと思っています。

養護教諭に

なりたいたいという思いをもって

私は、小学生の子と一緒にボードゲームやカードゲーム、折り紙などをして遊びました。小学生の子とかかわることが久しぶりだったので最初は少し緊張していましたが、一緒に遊ぶうちに少しずつ緊張がほぐれ、自然と会話や笑顔が増えていったように思います。一緒に遊んだ子も最初は緊張してお母さんと一緒に参加していましたが、時間が経つにつれて、私の声かけに返事をしてくれたり、表情が柔らかくなったりと少しずつ打ち解けていく様子が見られました。このボランティアにはこれまで「2回参加し、どちらも同じ子どもと関わることができました。お母さんから、「2回目は恥ずかしくて自分から関われなかったけれど、次は自分からお姉さんに声をかけたいと言っていた」と聞き、その言葉にとても感動しました。こうした子どもたちの成長を間近で感じられたことで、養護教諭になりたいという思いをより一層強く持つようになりました。

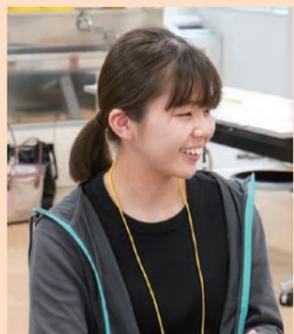
**安心して心を寄せられる人との
つながりも居場所になる**

今回のボランティア活動を通して、これまで授業で学んできたカウンセリングの技法やカウンセラーに求められる態度や役割、遊戯療法などの内容が特に活かされたように感じました。カウンセリングにおいて大切とされる相手を理解しようとする姿勢や、寄り添いながら肯定的に関わる態度は、日常の人との関わりの中でもとても大切なことだと改めて実感しました。
特に、子どもと関わる際に「その子のことを理解しよう」という気持ちで、子どもに寄り添おうとする姿勢と肯定的な態度が、子どもにとっての安心感につながるのだと感じまし

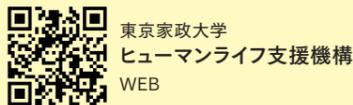
た。また子どもの居場所とは、物理的な場所だけではなく、安心して心を寄せられる人とのつながりも居場所になるのだと実感しました。

**学校現場での経験を
増やしていきたい**

このボランティアに参加したことで、子どもと関わる楽しさややりがいを実感し、もっとたくさん子どもと関わってみたいと思うようになりました。そのため、今後は学校ボランティアに積極的に参加し、さまざまな年齢の子どもたちと関わってみたいと思います。実際の学校現場で子どもたちがどのようにして過ごしているのかを見たり、先生方の支援の在り方を学んだりすることで、自分の視野を広げるとともに、養護教諭としてのどのような支援が求められるのかをより具体的に学び、考えるきっかけにしていきたいです。今回のボランティアを通して得た学びを大切にしながら、今後も授業に真剣に取り組むとともに、実習やボランティアなどの実践的な経験を積み重ねていきたいです。そして、子どもたちを支援するために必要な知識や技術、実践力を着実に身につけていきたいです。



人文学部
心理カウンセリング学科 M.K.



東京家政大学
ヒューマンライフ支援機構
WEB

課外活動や社会連携／産学連携を通して培う、課題解決能力

学生たちの挑戦!

社会連携／産学連携

課外活動

産学連携 マリンフーズ株式会社×海鮮を使った新商品開発



栄養学部
栄養学科4年 H.Y.



◀第1弾の取り組み「推し海鮮丼総選挙」で考案した「とろろ昆布のふわふわサーモン丼」

食の現場で学ぶ、実践力

私は、マリンフーズ株式会社との海鮮を使った商品開発に参加させて頂いたことで、食に関する視野を広げることができました。実際に商品開発で活躍する方から様々なアドバイスを頂き、工場での大量生産への落とし込みや解凍した際の見た目の持続性など、味以外の面を考慮することができました。この活動での、実際に活躍する方や同じく栄養学を学ぶ仲間と試行錯誤を繰り返した経験は、私の将来において貴重な生き残知識となりました。

産学連携 株式会社ドクターズプラザ×健康をテーマにしたレシピ開発

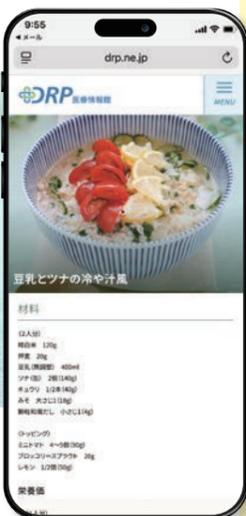
私はレシピ開発への興味と授業で学んだ知識を活かしたいという気持ちからこの活動に参加しました。レシピを考案する中で、単に美味しいものを作るのではなく、美味しさに加えてレシピのターゲット層や栄養学的知識、作りやすさなど、作る人のことを具体的にイメージするのが大変でした。しかし、活動を通して授業で学習した栄養の知識を活用し、健康な食事について広い視野を持つことができるようになったことで、食事の重要性についてさらに理解を深めることができました。

“おいしい”の裏にある、
たくさんの工夫と想い



栄養学部
栄養学科3年 T.N.

レシピはこちら▶



産学連携 データコム株式会社×レシピカードのデザイン制作



Photo by データコム株式会社 齋藤楓子氏



家政学部
造形表現学科4年
A.N.



売り場目線で考えるデザイン

企業とのコラボ企画で、スーパーに置かれるレシピカードのデザイン制作に参加しました。実際に店舗へ足を運んで売り場の様子を観察し、利用者の目線を意識してデザインを考えるのは新鮮で貴重な経験でした。ターゲットに合わせたデザインを考え、先生や企業の方からアドバイスを受けて調整を重ねたことで、より精度の高いものができたと感じています。

授業の課題制作とは違う実務に近いデザイン経験を通過し、多くの学びを得ました。実際に誰かに届けるものを作る難しさとやりがいを感じ、実感し、この経験で得た視点を今後の制作に反映させていきたいです。



活動日 毎週月・火(春・夏頃、有志メンバーは木・日も練習を行う)
活動場所 16号館1階 中体育室



Instagram

フラサークル PuaLani

想いを込めて、フラを届ける

私たちは現在1年生7名、2年生4名、3年生8名、4年生10名の計29名で日々楽しく活動しています。月曜日はコーチのレッスン、火曜日はサークル員のための練習、イベントのリハーサル等を行います。週2日大学の授業後に集まり、19時15分から21時00分まで、一緒にフラを楽しみ、コミュニケーションを取りながら、本番に向けて練習しています。主に地域のイベントや学園祭に参加し、有志メンバーは学生フラの大会にも出場しています。活動の様子は是非Instagramを覗いてみてください!

児童音楽研究会

子どもと楽しむ、音のひととき

約35年の歴史がある、子どもたちに音楽を届けるサークルです。「子どもたちと一緒に音楽を楽しむ」をスローガンとして、ペープサートやスケッチブックシアター、手遊び、パネルシアター等の児童文化財を用いて、主に児童館や保育園施設、図書館などで公演をしております。毎年緑苑祭では、4公演で約200人ほどの子どもたちに公演を楽しんでもらっています。専攻を超えた交流ができ、実習にも役立っています!



活動日 毎週木曜日 **活動場所** リズム遊戯室



▲そなエリア東京 onaraカフェ▶

不老荘
活動日 偶数月の第2日曜日、13:30～
活動場所 「入曽駅」から徒歩約10分

onaraカフェ
活動日 2ヶ月に1回(不定期)
活動場所 「小岩駅」北口から徒歩約3分

※不定期で色々なイベントに参加しています



看護ボランティアサークル

あたたかく寄り添うボランティア

不老荘では、高齢者の方たちと一緒に話したり、体操をしたりする活動です。血圧測定も行い楽しく活動しています。onaraカフェでは、スタッフとして営業のお手伝いや虐待サバイバーである参加者さんとの交流をさせていただいています。

毎年3月に開催されるそなエリア東京では、防災かるたや被災体験を通じて、地域の子どものや障がい者、高齢者などに災害の恐ろしさについて伝える活動を行います。



東京家政大学・東京家政大学短期大学部

2024年度 後援会ドリームプラン奨学金 活動報告

後援会ドリームプラン奨学金は、学生生活をより豊かなものにするために、本学在学中の学生で、個人的かつ社会的に有意義でオリジナリティにあふれるユニークな企画をもっている個人またはグループに対して、その計画の実現に向けて後援会が助成することを目的として給付する奨学金です。

活動報告の詳細は、HPをご覧ください。



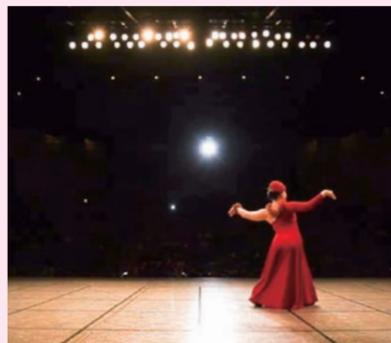
ワールドデュアスロン選手権の挑戦

栄養学部 栄養学科2年



子どものための物語絵本の制作 および絵本カフェでの発表・販売

児童学部 児童学科3年
家政学部 造形表現学科3年



夢の大舞台に挑戦

児童学部 児童教育学科3年



小さな命に届け! 「手のひらサイズの産着作り」

家政学部 服飾美術学科2年



ブランド設立「Puryu」

家政学部 服飾美術学科4年 2名



ブランドを伸ばすためのデザインフェスタへの出展

家政学部 服飾美術学科4年



写真展開催

家政学部 造形表現学科3年



二人展「結んで、舞って。」の開催

家政学部 造形表現学科4年 2名



発達障がい児へ効果のある遊びの探求

健康科学部 リハビリテーション学科2年 3名
子ども支援学部 子ども支援学科2年 5名

※学年は2024年度活動当時



中学 1年生

鎌倉探訪を終えて

中2学年では、中学校生活二度目の宿泊行事である「鎌倉探訪」に行ってきました。初日は、鎌倉市内での班別研修の後、円覚寺にて坐禅体験をしました。心の動揺や迷いを鎮め、真の自己を見つめ直す良い機会となりました。二日目は、宿泊先近くの海岸にて地引網体験をしました。みんなで力を合わせて網を引きました。大量の小魚に混じって大きな鯛の姿があったときには思わず大きな歓声が上がりました。獲れた鯛は贅沢にも丸焼きにして美味しくいただきました。この二日間での経験したことや学んだことは次年度の修学旅行でも生かしてほしいと思います。



中学 2年生



地引網体験▶

▲座禅体験

5月の生活
5月11日(日)から13日(火)までの2泊3日で、中学1年生は千葉県鴨川市へ校外行事「5月の生活」に出かけてまいりました。期間中、田植えや飯盒炊飯などの体験を通して、普段の「当たり前」が多くなると実感しました。実際に現地へ足を運び体験したからこそ得られる学びでした。さらに、友人関係が深まる時期に寝食を共にすることで、学年のつながりも強まりました。ビーチでは生徒たちが無邪気に笑い合う姿に心温まる思いでした。これからも学年の絆を深めながら楽しい学校生活を築いてまいります。

東京家政大学 附属女子中学校・高等学校

体験で深める学び



中高合同運動会開催
6月17日(火)に代々木第一体育館にて、中高合同運動会を開催しました。学年練習は梅雨の影響を受けましたが、予行は予備日に実施することができ、無事に本番を迎えることができました。運動会実行委員会を中心に、生徒の手で作り上げられた運動会は、大いに盛り上がりを見せ、充実した1日となりました。今年度は、運動会をさらに盛り上げようと、数年前に応援会が発足されました。開会式後に応援合戦が行われ、色別の士気は高まり、熱戦が繰り広げられました。結果は、5点差の大接戦を制し、黄団が総合優勝となりました。



▲色別リレー



生徒宣誓



高校 1年生

洞窟樹海探検

宿泊研修
高1学年では、学年の親睦を深め、他人と協力しながら物事に取り組むことにより「自主・自律」の姿勢を身につけることを目的とした宿泊研修を、5月12日、13日の一泊二日の日程で行いました。場所は山梨県富士吉田市。美しい新緑の中、最高の天気にも恵まれ、飯盒炊爨やアクティビティ等を通して楽しく有意義な時間を皆で共有しました。みんなで作ったカラーの美味しかったこと！この宿泊研修は、今後の学校生活にも大いに生かされるであろう、貴重な経験となりました。



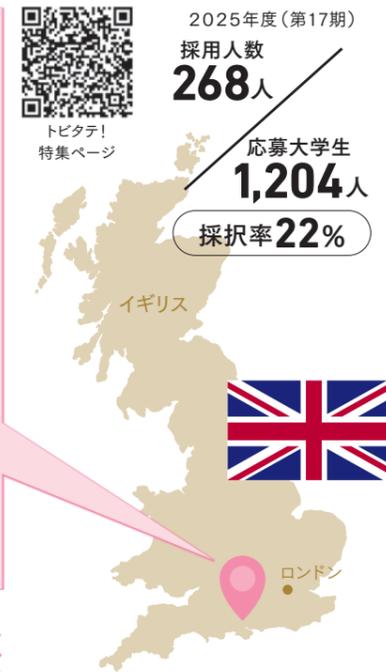
野鳥の森公園



健康科学部リハビリテーション学科
作業療法専攻2年

トビタテ!
留学JAPANに採用

トビタテ! 留学JAPANは、文部科学省と民間企業が共同で行っている留学助成プログラムです。政府の「骨太の方針」には、トビタテの発展的推進が明記されています。



留学先
サウサンプトン大学(イギリス)
Faculty of Environmental and Life Sciences,
School of Health Science,
University of Southampton

世界大学ランキング **97位**
出典: [Times Higher Education 2024]

作業療法士の分野でイギリス内 **TOP 5**
出典 [Counselling, Psychotherapy and Occupational
Therapy, Complete University Guide 2025]

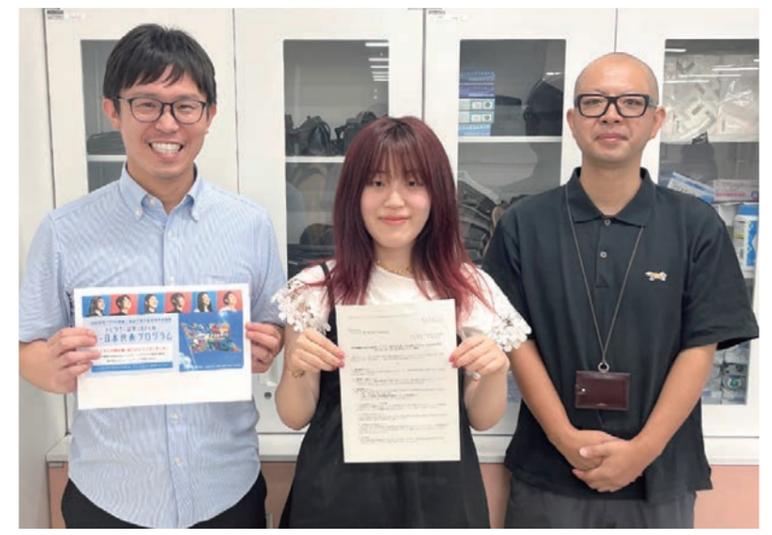
留学時期 **2026年2月~3月**

現地では、小児作業療法に関して学習予定。
また、現地の文化を吸収しながら、障害児の図書館の使用についてフィールドワークを計画。

**政府から日本代表として世界へ派遣
留学への挑戦が道を拓く**

今回の留学の採用を通して、「挑戦して本当によかった」という達成感を強く感じています。授業でトビタテの制度を知ったことをきっかけに、自分の夢と留学を結び付け、医療福祉の最先端であるイギリスへの留学を決意しました。小学生の頃にダウン症の子どもが図書館でパニックを起こしていた姿を見た経験から、誰もが安心して利用できるインクルーシブな図書館を作りたいという思いがありました。よって現地の医療施設や図書館での調査、サウサンプトン大学での研究活動を通して、障がいのある人の社会参加を促進する社会づくりに貢献していきたいと考えています。

健康科学部リハビリテーション学科
作業療法専攻2年 今井 ほかさん



2025年6月12日(木)

**渡邊辰五郎賞・
渡邊辰五郎奨励賞
贈賞式**

第14回渡邊辰五郎賞・渡邊辰五郎奨励賞贈賞式が6月12日に執り行われました。贈賞式では、菅谷理事長、井上学長より、表彰状と副賞、記念メダルが授与され、受賞者による講演も行われました。



河島 春佳 氏
2011年 東京家政大学 家政学部 服飾美術学科 卒業

佐藤 和子 氏
1953年 東京家政大学短期大学部 被服科 卒業

渡邊辰五郎賞・渡邊辰五郎奨励賞は、日本近代の黎明期である明治時代の教育家として評価されている校祖渡邊辰五郎の偉大なる業績を讃え、後世に伝えるため、創立130周年を記念して創設しました。「渡邊辰五郎賞」は、東京家政大学の建

学の精神である「自主自律」に相応しく、社会での長年の活躍が評価され、大いなる貢献をした卒業生を称えるものであり、「渡邊辰五郎奨励賞」は社会での活躍が著しく、今後の活躍が期待され、本学の荣誉を担う卒業生を称えるものです。

理事長コラム No.22

世界を生きる
Living in the World



学校法人 渡辺学園 理事長
菅谷 定彦

ハワイアンオープン、最良の日々
中鉢ソニー社長にパターの
コツを伝授

ゴルフの聖地、スコットランドのセントアンドルーズから日本経済新聞大阪本社に戻り、バブル崩壊後の慌ただしい取締役編集局長の業務をこなしていたが、帰国2ヶ月後、右前腕の鈍痛が始まった。前述の親友、多田道彦が大阪大学医学部第一内科教授になっていたため、越智・整形学部主任教授を紹介してもらった。レントゲン写真を見た教授が「アツ」と声をあげ、骨片が4枚剥離している、病名は剥離骨折との診断だった。

教授は3週間後にもう一度来て下さい、手術を含めて処置を決めますとの話。決められた日時にもう一度レントゲンをとると教授が「アレエー」と大声を出し、「骨片が4枚とも消えている、珍しいケース」と



▲中鉢ソニー社長にパターをレッスンする(ワイアラエC.C.) 2008年1月

話す。また痛みが出たら来て下さいと言われたがその後今日に至るまで何の問題も無い。私の強い筋肉が骨片を吸収したと自己診断している。

その4年後の1993年夏、常務取締役名古屋代表時にパソコン多用時代なので社員全員の目的定期検診を指示、今度は右目網膜剥離の診断を受けた。名古屋支社で目に異常があったのは私一人だった。診察した女性医師は愛知医科大学の助教授、荻野誠周先生が網膜剥離の手術では日本一二を争う名手と話したので、その場で紹介をお願いした。私の目を診察した荻野先生は「3年位前にけんかでもして右目を殴られませんでしたか」と聞くのでセントアンドルーズでの前述の一打を話すと「明日夕方手術をする。3日位入院の積りで」と即答した。1時間足らずの手術後、頭が動かないように木製の箱で固定された。通常2〜3日はこの状態と伝えられ、とういて耐えられないと思いがら数分で寝入ってしまった。翌朝来室した荻野助教授は、「傷口がきれいに塞がっている。午後退院してもいいが、スポーツや長時間の読書、テレビはしばらくダメ」と言われ直ちに退院。評判通りの名医だった。

米国中心に世界マッチプレー選手権で青木功選手が優勝した英国のウエントワースを含め多くの名コースでプレーする機会に恵まれたが、私が大好きなゴルフ場は前述した「ペブルビーチ」とハワイのホノルルにある「ワイアラエC.C」の2つである。PGA(米プロゴルフ協会)の公式戦で年初2番目にワイアラエで開かれる「ソニー・オープン」には民間テレビ放送キー局5局の民家日本テレビ、日枝フジ、井上TBS、広瀬テレ朝社長が放送機器でソニーに大変お世

話になっているため、こぞって参加、私もテレビ東京社長、会長時代に7回出場した。

ワイアラエは小高い丘と太平洋に挟まれ、ヤシの木が林立する平坦なコース。グリーンは海に向かって順目でスピードが速いことに注意すればそよ風の中、気持ち良く回れるはずだが、PGAトーナメントの開催コースとあってバンカーを含めかなりタフな設計。私は良いスコアを出しきれなかったが開放感のある気持ちの良いコースだった。青木功プロが1983年最終ホール(パー5)で劇的なイーグルの3を出しPGAツアーでの日本人初優勝を成し遂げたゴルフ場でもある。

私は主催者の中鉢良治ソニー社長が急用で帰国した回を除きほとんど全て中鉢さんと同組。そのお陰で同伴プロは当時世界のトッププロ、アーニー・エルス、ヒジェイ・シンらとラウンド出来た。タイガー・ウッズはこの頃ハワイアンオープンに欠場続きだった。前年世界ランク1位になったシン選手がスタート直前いきなり私に「日本経済はどうなるのか」と質問「パブルの山が高すぎた反動で、崩壊の谷は深く長く続く」と答えると「分かった、ありがとう」と礼を言われた。

中鉢社長はドライバー、アイアンのショットは真つすく、飛距離も出るのだが、パットは腰が動いて苦労していた。そこで日本でのプロアマ戦などでしばしば同伴した尾崎将司プロや青木功プロから「パターはプロ並み」と評価された私の技術を伝授した結果、かなり改善した。

ハワイでは試合終了後、テレビ界トップの中で私だけが中鉢社長の芝生越しに太平洋が見える1階特別室での夕食会に每晚招待された。2011年には中鉢社長の友人で前年ノーベル化学賞を受賞した根岸英一御夫妻を交え、私が得意とするドライマティニー・オンザロックを振舞い討論に花を咲かせた。アフターゴルフを含め、ハワイアンオープンはゴルフのスコアを除けば楽しい思い出続きの日々だった。ゴルフは私にとり業務の一端で重要な人的交流の場でもあるので少し長めに書いたが、次回から日経米州編集局長(在ニューヨーク)2年目の激動の日々がスタートする。

▼ワイアラエC.C.そばのザ・カハラ・ホテル内中鉢社長の特別室で
中央 2010年ノーベル化学賞受賞者 根岸英一博士、令夫人、左:菅谷、
後列 ノーベル賞のメダルを持つ中鉢夫人
2011年11月



▼ハワイアンオープン前夜祭
テレビキー局トップと中鉢ソニー社長夫妻
前列 中央:菅谷テレビ東京社長、右へ:氏家日本テレビ社長、広瀬テレビ朝日社長
後列 中央:日枝フジテレビ社長、その左:中鉢ソニー社長 2008年1月



世界を生きる No.23
「日経米州編集局長時代9」

To be continued

東京家政大学ビジョン150

理念

存在意義（パーパス）

行動指針（ミッション）

理念

建学の精神「自主自律」

生活信条「愛情・勤勉・聡明」

存在意義（パーパス）

知と技で自他の可能性を広げ、
人がつながる社会の起点となる。

東京家政大学は、すべての人が自分らしく暮らし、
人生を全うすることができる社会、
人と人がつながる社会の実現に貢献します。

東京家政大学が大切にしているしなやかな知性と実践に基づく専門性は、
自分自身の人生を切り拓くだけでなく、
他者の可能性をも広げることができるものです。

東京家政大学は、すべての人が支え合い、
認め合うことのできる社会に向けて、
自ら最初の一歩を踏み出す人を育みます。

行動指針（ミッション）

1. 理念・目的
大学・大学院・短大の理念・目的に即し、必要な改革を断行する。
2. 入学者の積極的な受け入れ
急速に進む少子化・社会の変化を直視し、学ぶ意欲のある多様な学生を積極的に受け入れる。
3. 学習・教育
「人をつなぐ専門力」（専門に関する能力×汎用的能力）の育成に邁進する。
4. 学生支援・キャリア支援
すべての学生がそれぞれの可能性を発見し、伸ばせるよう支援する。
5. 研究活動
教育研究を支える環境や条件を整備し、研究活動を活性化する。
6. 社会連携・社会貢献
地域社会や企業等との連携を通じて、大学の教育研究の成果を社会に還元する。
7. 生涯教育・キャリアアップ
本学の強みを生かし、広く社会人等に対し充実した学びの機会を提供する。

就職に強い、東京家政大学



2025年度 実就職率ランキング

全国
女子大

No.1

全国 国公立大 **No.7**



実就職率

2024年度 卒業生対象

96.5%

※2025年度実就職率ランキング（卒業生1,000人以上）
※大学通信調査／2025年7月24日付
※実就職率＝就職者数÷（卒業者数-大学院進学者数）×100



思い描くキャリアの実現へ

TOKYO KASEI PRESS Vol.105

学校法人渡辺学園 広報誌なでしこ

令和7(2025)年9月発行

発行人 菅谷 定彦(学校法人渡辺学園 理事長)
編集責任者 若井 絹江(広報・宣伝部 統括)
編集メンバー 川口 恵美子、田中 江梨子、後藤 直哉、
坂本 理恵、綿貫 里穂、平松 華歩
学校法人渡辺学園 広報・宣伝部
〒173-8602 東京都板橋区加賀1-18-1
TEL 03-3961-5690

デザイン SS Design
印刷 上毛印刷株式会社

掲載希望の記事がありましたら、広報・宣伝部にご連絡ください。



TOKYO KASEI PRESS
バックナンバー



Instagram

本学の魅力や最新情報を発信中！
“フォロー”や“いいね”
よろしくお願いします！



TOKYO KASEI PRESS Vol.105
アンケート



学生広報メンバー
応募フォーム

ご協力を
よろしくお願いします！

ご興味のある方は
広報・宣伝部
お気軽にご連絡ください！